

# 麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL024-924-2194 FAX024-924-2195

## 【出生に伴う記念樹交付の終了について】

郡山市にお住まいでお子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしておりましたが、平成25年度をもって終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

### プレゼント対象者

郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。

### 申請方法

申請書に添付して提出してください。(出生届の写しまたは母子手帳の写し)

### 申請期間

出産後1年以内

### 申請窓口

- ・ 21世紀記念公園 麓山の杜 024-924-2194
- ・ 郡山カルチャーパーク 024-947-1600
- ・ 郡山市都市整備部公園緑地課 024-924-2361 ・ 各行政センター



## ガーデニングワンポイント

**【水やり】**4月は、降水量が少なく乾燥した状態が続きました。先月に引き続き、これからの時期も水分がとても必要になります。葉を広げる為には、なくてはならないのが水分です。特に、根が切られ植え替えをしたものは、強い日光を浴び風に吹かれるとすぐ萎れやすく、その後も水不足が続くと枯れてしまいます。乾いてきたら、たっぷりと樹冠全体にあげます。水をあげるタイミングは、表面の土の乾き具合を見て判断します。**水やりは、水分を根に届けると同時に新鮮な酸素を供給するのが目的です。根腐れとは根に酸素が不足し、窒息状態のことです。**「キャラボクの古木の芽吹きが悪く、葉が黄色くなり枯れますか？」と質問を受けました。確かに葉が黄変し落葉が激しく、樹勢が落ちた状態でした。移植して8年目の、樹形の綺麗な貴重な木でした。ここ数年の異常ともいえる高温乾燥が、この木を痛めた原因といえます。植栽場所(西日があたらない)、土壌に注意し、乾燥が続く時は水やりが必要になります。どうしても弱ってから気づくので、回復に時間がかかります。水の管理はとても難しいです。

## 新緑、花々が咲き誇る季節です。

**【肥料】**花後に、お礼肥として緩効性化成肥料をあげ、次の成長を助けます。只これからは、肥料をあげすぎると柔らかく育ち、病虫害の抵抗力が落ちやすくなります。芝生には、この時期に芝生専用肥料をあげます。三要素が、すべて8%の化成肥料がむきます。何事も、適期・適量が大事です。

**【病虫害防除】**アブラムシが、カエデ類を含め多くの樹種の新梢に発生しています。拡がる前に殺虫剤で退治することが大事です。土壌に撒いて吸収移行して効果のある薬剤もあります。特に草花などには向きます。アブラムシは何度も発生します。葉が開いてまだ柔らかい時期は、薬剤散布によって葉が焼けてしまうことがあります。イモムシ(ケムシ類)も見かけるようになりました。マサキの生垣には、食害もでています。種類によっては、かぶれるなどの毒を持っているものもあります。脱皮した抜け殻でも炎症がでるので注意してください。松枯れの原因となるマツノマダラカミキリも成虫になって飛び始めます。スミチオン乳剤などを散布すると効果があります。黒星病やうどんこ病などの病気も発生し始めます。病気に対しては、発生前に予防薬を散布します。**薬剤使用時は、使用方法を必ず守って下さい。**

**【剪定】** ツバキやサザンカなどは、早めに剪定を終わらせます。ツゲやマサキなどの生垣も刈込み、大きさをコントロールしておきます。ヒバ類キャラボクなどの針葉樹もこの時期に行います。マツ類は、新芽が伸びてきました。みどり摘みを行います。**今月18日の講習会で、マツの剪定について行いますのでぜひ参加してください。** シャクナゲやツツジやボタンなどは、花柄を摘みとり樹勢を弱めないようにします。刈込にたえるものは、花後に樹冠全体を刈り込みます。

落葉樹は、この時期は弱めの剪定にとどめます。

**【植え替え】** 常緑樹は、新芽が伸び始めていますので、移植すると枯れてしまう事が多くあります。新芽が固まる梅雨時まで待ちます。落葉樹や針葉樹も適していません。植え替えの適期は、植物によって違いがあります。鉢植えなどの場合は、この時期でも十分に可能です。草花も、夏秋花壇を彩る種類に変わります。土壌改良を行ってから植え替えて下さい。成長して花を咲かせる植物を、育てる事の素晴らしさを体験しませんか。



【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00開催 樹木医の先生がお答え致します。	
開催日時	教室名	内容	定員
6月15日(日) 10:00~15:00	記念樹交付及び みどり講習会	記念樹の育て方初歩講座（季節の管理ポイント） ・春から初夏に咲く樹木の花後の管理について ・薬剤散布(病気や害虫防除)	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

**4月のみどりの教室 〈ハナカツミの講習会〉**

4月13日(日)に「ハナカツミの年間管理・適期の植え方」教室を開催しました。「みちのくの あさかぬまの 花かつみ かつみる人に 恋ひやわたらん」と古今和歌集に詠まれ、ハナカツミは郡山市の花になっています。ヒメシャガの名前が一般的です。紫や白の花がこの時期に咲き始めました。とても可憐な花は苔玉や寄せ植えにもできます。比較的簡単な山野草に分類されています。ただ、管理の仕方を間違えると幾度植えても消えてしまうという様になります。管理方法のチラシは、当管理事務所にあります。講習会で、「郡山市の木は、何でしょう？」の質問に対して、答えがなかなか出ませんでした。答えは、「ヤマザクラです。」5月も、みどり講習会がありますので、ご参加をお待ちしています。



**街で見かけた植物 「西洋石楠花 セイヨウシャクナゲ」**



ツツジ科ツツジ属（シャクナゲ亜属）の常緑低中木

本県をはじめ、国内に自生している品種と外国種との交配により、数多くの園芸品種が作出されています。それが、セイヨウシャクナゲです。花の色も数多く存在しています。一つの蕾から大きく豪華な花を咲かせます。日本石楠花と違い、丈夫で大きく育ちます。花後には花柄を摘み取り、次の芽を伸ばすようにします。つけすぎた蕾は、早い時期に摘み取ります。落葉樹との相性も良いので、雑木の庭に植える事が多くあります。腐葉土、赤玉土、鹿沼土を混ぜた用土で植え込むと良いです。

